



国見中学校だより

うえのはら

令和5年10月13日 第5号 文責（加藤）



学校教育目標「自ら気づき、考え、判断し、主体的に行動する生徒が育つ学校」

○ 秋晴れの陽気がこちよいころになりました！

ついこの間までは、暑い、暑いと言っていました。10月に入ってからは、朝夕の気温がずいぶん下がり、どこからともなく漂ってくるキンモクセイの甘い香りに秋の訪れを感じます。8月25日に始まった2学期も、3年生は修学旅行、2年生は職場体験学習、1年生はバス旅行、また、先日開催された伊西地区中体連駅伝大会と、あっという間に折り返しに差しかかりました。今、学校では、10月27日（金）に開催される合唱コンクールに向けて、毎日美しい歌声が響いています。どの学級も実行委員、パートリーダーを中心にがんばっています。平日ではありますが、コンクール当日、是非ご来校いただければと思います。



また、11日（水）に「学校生活の連絡簿」をお渡ししております。昨年度までは、1～3学期の終業式及び修了式にお渡ししていましたが、今年度より成績二期制に変更したことを受けたものです。各教科の評定への期待と不安、そしてその結果を見て一喜一憂する姿。よくあることです。生徒の皆さんには、現在は過去の延長であり、今手にした結果は、過去における自らの学習への取組によりもたらされるもので、ある意味自己責任であるということをお話しました。評価がよかった教科、悪かった教科について、なぜそうなったかを考え、よかったことは継続し、そうでなかったことは改善するようにしてほしいと思います。現在は、過去の延長で変えようがありませんが、未来は現在の取組によってどのようにでも変えることができます。後期に向けての新たな一歩への一助としてくれればと思います。



○ 一日の中で、学校が静まり返る瞬間があります！

国見中学校には、学校が静まりかえる瞬間があります。それは、昼休みから掃除の時間へと変わるときです。昼休みの終わりを知らせるチャイムが鳴ると、生徒の皆さんは一斉にそれぞれの掃除場所へと移動していきます。この時は、学校中がざわざわとしていて、おそらく一日の中で最も騒然としています。しかし、

「国見中学校の掃除は、我慢の心、気づきの心、感謝の心を育てる時間です。」

「毎日お世話になっている校舎を、心を込めて磨きましょう。」

「それでは、心落ち着かせるために黙想をしましょう。」「黙想。」

とのアナウンスが入ると、それまであれだけざわついてきた校舎内から、一瞬にして話し声が聞こえなくなり、まるで誰もいないかのように静まり返ります。

全生徒が何をすべきかをそれぞれの掃除場所に居ながらにして考え、行動できていることはとても素晴らしいことだと思います。これまで、無言掃除に取り組む学校にも勤務しましたが、これほどまでに見事な学校はありませんでした。日ごろから当然のこととして、実行している生徒の皆さんにとっては、何度もないことかもしれませんが、なかなかできることではありません。ぜひ、国見中学校の伝統としてこれからも引き継いでいってほしいと思います。

